

# 平成25年度事業報告

## <全般的な状況>

### 【観光旅行の状況】

観光庁の平成26年4月発表の「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」によると、平成26年2月分の国内旅行は、対前年同月比で100.7%（13か月連続の増加）、2013年に初めて1千万人の大台（1,036万3,900千人）を突破した訪日外客数は、対前年同月比で123.3%となり、観光が活発化している明るい兆しが見られる。この傾向は、京都府にも当てはまると推定できる。

### 【府内交通網の充実】

観光に大きく影響する交通網の充実について、京都縦貫自動車道第二外環状道路「にそと」（沓掛IC～大山崎JCT間）が平成25年4月に開通した。国土交通省京都国道事務所の発表によると、「にそと」の開通に伴い、沓掛～大山崎の所要時間が短縮され、周辺国道の1日交通量が減となり、京都市内や乙訓地域の広いエリアで交通事情が改善された。ICが設置された乙訓地域はもとより、山城地域、南丹地域にも人の流れの変化が感じられる。

平成25年12月には、長岡京ICに直結する形で阪急西山天王山駅が開業され、新たなゲートウェイが誕生した。また、北近畿タンゴ鉄道（KTR）では、平成25年4月に観光型の新型車両「あかまつ・あおまつ」が導入され、好評を博している。

### 【京都駅から一足のばし】

京都駅の京都総合観光案内所（京なび）を府域観光情報の発信拠点として、府内各市町村の企画展示やパンフレットの配架など様々な形で活用し、府域への観光誘客に努めた。

また、南丹、山城・乙訓地域については、大半の地域に京都駅から1時間程度で訪れることができるため、紅葉ガイドマップ、春の花（桜ほか）ガイドマップ等を作成し、地域への一層の回遊を図っている。

### 【海の京都観光圏】

ブランド力のある観光地域づくりを目指して、丹後・中丹地域の7市町や関係団体で構成する「海の京都観光推進協議会」が平成25年4月に設立され、柏原会長が同協議会会長に就任した。事務局は観光連盟（丹後分室）に置かれた。観光圏整備法に基づく「海の京都観光圏」整備計画及び実施計画の認定に向けた手続や、地域資源・観光資源の開発、大型クルーズ客船寄港の対応、周遊パスポートの配布など観光を活かした地域づくり活動を支援している。

## <取組状況>

### 1 組織活動の強化

会員の増減については、会員登録の変更が生じ、会員数としては前年度と比較すると若干の減となった。

#### (1) 会員の異動状況

平成 25 年 3 月 31 日（日）現在の会員数 292 会員

平成 25 年度中の異動状況

入会 4 会員 退会 8 会員

平成 25 年 3 月 31 日（月）現在の会員数 288 会員

#### (2) 理事会及び総会の開催

◇理事会（第 1 回） 平成 25 年 5 月 22 日（水） 理事 14 名、監事 3 名出席  
役員を選任（総会上程案）と観光関連事業功労者等表彰等について報告し、24 年度の事業報告と収支決算について承認を得た。

◇総会 平成 25 年 6 月 17 日（月） 会員 244 名（委任状を含む）出席  
24 年度の事業報告と 25 年度の事業計画と収支予算、海の京都観光推進協議会の設立等を報告し、役員を選任と 24 年度収支決算について承認を得た。

◇理事会（第 2 回） 平成 25 年 6 月 17 日（月） 理事 18 名、監事 2 名出席  
役員の変更にあたり、会長、副会長、専務理事を選任した。会長には引き続き、柏原康夫(株)京都銀行代表取締役会長を選任した。

◇理事会（第 3 回） 平成 26 年 3 月 18 日（火） 理事 14 名、監事 2 名出席  
25 年度収支補正予算、26 年度事業計画及び収支予算について承認を得た。

#### (3) 観光関連事業功労者等の表彰

観光振興に顕著な功績のあった観光関係者及び団体に対する表彰を行った。

- ・平成 25 年 4 月 11 日（木） 観光関連事業功労者表彰選考委員会
- ・平成 25 年 6 月 17 日（月） 観光関連事業功労者等表彰（観光連盟総会にて）

表彰区分	被表彰者数
観光功労者	9人（知事表彰 3名、会長表彰 6名）
優良従業員・職員表彰	20人（知事表彰 2名、会長表彰 18名）
優良観光団体	会長表彰 2団体

#### (4) 関係機関・団体等との連携

各種委員会等への参画をはじめ、観光協会、市町村（観光振興計画）、物産団体、旅行・運輸業界、社寺、その他観光関連団体・機関等の会議・催し等に参加し、連携を深め、観光関連業界の振興と発展に努めた。（注）参画各種委員会等は別紙参照

## 2 観光情報発信機能の強化

### (1) 京都総合観光案内所（京なび／京都駅ビル内）の利用状況

京都府と京都市が共同で設置し、当連盟も参画している「京都総合観光案内所運営協議会」により運営の京都総合観光案内所において、京都府域の観光案内を実施するとともに、観光情報の提供等により府域観光地への誘客促進に努めた。

\*窓口相談件数実績（電話相談件数除く）

窓口問合せ数	日本人	外国人	合計
25年度	499,075人	266,505人	765,580人
24年度	610,656人	233,027人	843,683人

### (2) 京なびでの企画展示（市町村観光協会等の観光PRコーナー）

観光客のニーズや時宜にかなった情報提供を行うため、京なびの入口付近のスペースにおいて、市町村観光協会等による企画展示を実施した。

京丹後市観光協会	5月31日～6月12日
綾部市観光協会	6月14日～26日
府内の花火大会	6月28日～7月31日
府内の海水浴場	8月2日～8月14日
八幡市観光協会、笠置町観光協会	8月16日～8月28日
天橋立観光協会	8月30日～9月11日
向日市観光協会、京田辺市観光協会	9月13日～9月25日
亀岡市観光協会	9月27日～10月9日
木津川市観光協会	10月11日～10月23日
府域合同出展 紅葉だより	10月25日～11月27日
京丹波町観光協会	12月13日～12月25日
府域合同出展 除夜の鐘&初詣	12月27日～1月15日
府域合同出展 冬の味覚と地域の見どころ	1月17日～2月26日
府域合同出展 桜だより	3月28日～4月9日

併せて、京都駅からひと足延ばして行くことができる府内の観光スポット、イベントなどを電子ポスターで掲示した。

### (3) 丹後観光情報センター（KTR天橋立駅）の利用状況

案内窓口の立地条件をいかして、来訪者に役立つ観光情報の収集に努めるとともに、丹後を中心に観光情報を提供し、各種問い合わせに対応した。

	来訪者数（うち外国人）	電話問合せ	合計
25年度	39,801人（5,671人）	4,139件	43,940件
24年度	28,298人（2,475人）	2,937件	31,235件

#### (4) 「観光だより」の発行

府内の行催(祭)事、花だより、味覚などを、各市町村等の協力により四半期ごとに取りまとめ、ホームページ上で発行。ダウンロードできるようにし、利便性の向上を図った。

発行日： 「夏・秋号」 平成 25 年 5 月 31 日 (金)

「秋・冬号」 平成 25 年 8 月 30 日 (金)

「冬・春号」 平成 25 年 11 月 25 日 (月)

「春・夏号」 平成 25 年 2 月 25 日 (火)

#### (5) 観光情報データベースの整備と管理

観光情報提供システムのデータ更新を図り、連盟ホームページから情報発信を行った。

- ・HPのアクセス状況

	25 年度	24 年度
訪問者数	1,444,867 件	1,114,800 件
1 日あたりの訪問者数	3,959 件	3,054 件
ページビュー	14,430,156PV	13,848,122PV
1 日あたりのページビュー	39,535PV	37,940PV

- ・HPでの新着情報の発信

新着・注目情報 120 件

- ・花だよりの提供

桜の見どころ	134 箇所	紅葉の見どころ	145 箇所
つつじ・さつきの見どころ	39 箇所	梅・椿の見どころ	38 箇所
あじさいの見どころ	20 箇所		

- ・その他の情報提供

観光農園（ぶどう・梨）の案内	9 箇所	除夜の鐘の案内	36 箇所
観光農園（くり・いもほり・柿）の案内	14 箇所	初詣の案内	19 箇所
冬の味覚の案内	25 箇所	節分の案内	19 箇所

- ・市町村発行の総合パンフレットのPDFファイルのダウンロード提供 65 点

#### (6) 観光・防災アプリ KYOTO Trip+（きょうとトリッププラス）への観光情報データ提供

KYOTO Trip+とは、京都府と京都市が推進している国内外の観光客などに、利用者の設定に応じた府全域の観光情報や防災情報を多言語で提供するスマートフォンアプリのことで、当連盟も協力し、平成 26 年 2 月 21 日から実証運用を開始した。

また別に、スマートフォンアプリ「旅ぷら関西」へも観光情報を提供している。

## (7) 広報・宣伝の支援

観光事業を後援するとともに、旅行エージェント向けに観光写真データを貸し出すことにより、府域の観光PRに努めた。

- ・後援件数 96 件
- ・フィルムライブラリー写真提供 27 件 103 枚

## (8) 桜の開花情報及び紅葉情報の発信

府内各地の桜の開花情報及び紅葉情報を定期的に市町村・観光協会の協力を得て収集し、主な関係先へ送付するとともにインターネットでの情報発信を行った。また、府域の桜開花情報と紅葉情報を府市共同で京都総合観光案内所及び丹後観光情報センターに掲示し観光客の利便を図った。

区分	表示件数（箇所）	掲示期間
桜開花情報	京都府域 51 箇所 京都市域 46 箇所	平成 25 年 3 月 21 日 ～4 月 15 日
紅葉情報	京都府域 47 箇所 京都市域 67 箇所	平成 25 年 10 月 24 日 ～12 月 12 日
桜開花情報	京都府域 54 箇所 京都市域 45 箇所	平成 26 年 3 月 20 日 ～4 月 17 日

## (9) 観光情報ファイルの活用

公益社団法人日本観光振興協会に対し府内観光情報の提供を行い、同協会の広報媒体を活用して広く情報発信を行った。

## (10) 観光振興への拠出

公益社団法人日本観光振興協会が実施する広域観光振興事業に対する拠出を行った。

## 3 観光客誘致対策の強化

### (1) 観光PRツール作成による広報宣伝

府内の「海水浴場ガイドマップ」、「主な花火大会」、「除夜の鐘&初詣」をまとめたものを作成し、HPから印刷できるようにするとともに、京なびに配架した。

また、京都駅からひと足延ばしで行ける府内の「紅葉ガイドマップ」及び桜ほか「春の花ガイドマップ」を、コンパクトに畳めるミウラ折りで作成した。

さらに、春の桜、秋の紅葉をクローズアップした観光ポスター及び府内の温泉施設を紹介する冊子を作成した。

## (2) 京都府・JR西日本観光連携協議会による事業展開

乙訓・山城・南丹地域を対象に、フライヤー「ひと足のばしてもっと京都新発見」を時点修正して作成、JR沿線の各駅に配架するとともに、JR西日本の広報紙「西Navi」2014年3月号で「京都ほっとスポットめぐり」を特集。

## (3) 京都・西の観光振興会議への参画

京都市西部から乙訓・南丹地域を西の観光エリアに位置づけ、専用のサイトを設けるとともに、観光・旅好きでツイッターやブログなどで生の情報を発信する魅力発掘モニターツアーを実施した。

- ・日 程：平成26年3月15日（土）
- ・訪問先：アサヒビール大山崎山荘美術館、トロッコ列車乗車、自由発掘行動
- ・参加者：23名

## (4) コンシェルジュ等観光情報現地説明会

京都市域のホテル・旅館の宿泊施設のコンシェルジュ等に対して、府域の観光情報を提供し、実際の現地訪問により各地の観光資源の魅力を体感してもらい、京都市内からの誘客を促進するために実施した。

- ・日 程：平成26年2月18日（火）
- ・訪問先：伊根（舟屋見学、伊根湾巡り）、天橋立（元伊勢籠神社、傘松公園、智恩寺文殊堂）、KTRあかまつ号乗車
- ・参加者：12施設18名

## (5) NHK大河ドラマ誘致推進協議会との連携

NHK大河ドラマの題材として、戦国武将の明智光秀とその娘の細川ガラシャを中心に親子・夫婦の絆を描く物語を提案しているところであり、25年6月には、知事も参加してNHK会長にドラマ制作を要望した。

当連盟では、Webページ・電子パンフレット、京なび掲出用の電子ポスター、京都縦貫自動車道沿線歴史ガイド（明智光秀・細川ガラシャをたどる道）を作成し、誘致活動を支援している。

## 4 戦略的な観光プロモーションの強化

情報発信力の高い旅行関係の雑誌や地元新聞を活用し、京都の旬の魅力を発信した。

### (1) メディア連携タイアップ

雑誌6社 7回 延べ33ページ掲載

### (2) 京都新聞 企画連載記事『旬の見どころ 観光協会より』の掲載調整

20観光協会 23回掲載

### (3) 第21回京都観光プロモーション会議の開催

首都圏の旅行会社（エージェンツ）・旅客輸送会社（キャリア）に府域の観光資源を紹介・宣伝する会議を、東京で開催した。

- ・日 程：平成 25 年 9 月 5 日（木）
- ・場 所：東京ステーションコンファレンス（東京駅隣接のビル）
- ・内 容：府域全体と各市観光協会のプレゼンテーション、個別商談会
- ・参加のエージェンツ・キャリア  
JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、クラブツーリズム、トップツアー、  
阪急交通社、東武トラベル、JR東日本、JR東海、JR東海ツアーズ、  
JALパック、ANAセールス、JCBトラベル
- ・京都府側の参加者  
宇治市・八幡市・京田辺市・木津川市・長岡京市・亀岡市・南丹市の各観光  
協会、京都府立植物園

#### <現地視察会>

平成 25 年 10 月 17 日（木）・18 日（金）、エージェンツ・キャリア 8 社 10 名の参加を得て、南丹市美山町（かやぶきの里、芦生原生林ほか）と亀岡市（楽々荘、亀山城趾、保津川下りほか）の現地視察を実施した。

### (4) マスコミ招請事業

観光を担当する報道関係者等を招請し、府域の新しい、あるいは四季折々の魅力を現地訪問により紹介し、観光情報の発信につなげるために実施した。

- ・日 程：平成 26 年 3 月 4 日（火）
- ・訪問先：阪急西山天王山駅集合、宇治（三室戸寺、萬福寺、普茶弁当）、南丹（ピロード工場、生身天満宮）、亀岡（出雲大神宮）。「にそと」効果の体験。
- ・参加者：5 団体 8 名

### (5) 「京の七夕」事業への参画

「願い」をテーマに、観光や伝統産業の振興、伝統・文化の継承を図るため、旧暦の 7 月 7 日を中心に平成 22 年度から実施している『京の七夕』が開催され、実行委員会の一員として参画した。

- ・開催期間 平成 25 年 8 月 3 日（土）～12 日（月）  
点灯時間 19 時～21 時 30 分
- ・参加者数 742,000 人（前年比 101%）  
（鴨川会場 430,000 人、堀川会場 312,000 人）

## 5 物産展、観光展等への出展

### (1) にぎわい元気市—京都観光物産展—の開催

① 平成25年9月の台風18号による大雨被害を受けた地域について、観光の面からも地元のにぎわい回復を一層推進するため、京都市内で府内特産品による観光物産展を開催し大勢の人で賑わった。

- ・日 程：平成25年11月30日（土）、12月1日（日）
- ・場 所：京都文化博物館（京都市中京区）別館前広場（三条通側）
- ・出展団体（10市町）：福知山市、舞鶴市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、和束町、京丹波町、伊根町、与謝野町
- ・販売特産品：丹後コシヒカリ、オイルサーディン、舞鶴かまぼこ、スイーツ
- ・来場者：1,350人（推計）

② 併せて、大雨被害からの回復を広くアピールするため、東京、名古屋、大阪などの各駅でデジタルサイネージによる観光PRを実施した。

（舞鶴、福知山、トロッコ亀岡、保津川下り、宇治）

<JR西日本サイネージ>

- ・掲出期間：平成25年11月25日（月）～12月8日（日）
- ・掲出駅：大阪駅、京都駅、三宮駅、新大阪駅、天王寺駅

<JR東海サイネージ>

- ・掲出期間：平成25年12月2日（月）～12月8日（日）
- ・掲出駅：東京駅、名古屋駅

### (2) 第16回 京の味めぐり技くらべ展

府内の食品・工芸品が一堂に会し、展示販売を行う新春の恒例行事「第16回京の味めぐり技くらべ展」の開催に併せて、会場の一角には観光コーナーを設け、日替わりで各地域の情報を提供するとともに、ゆるキャラも登場してアピールした。

- ・期 間：平成26年1月8日（水）～14日（火）
- ・場 所：大丸京都店
- ・出展者数：工芸・食品計81社（うち新規21社）
- ・観光PR：舞鶴市、与謝野町、京丹波町、南丹市、亀岡市、京田辺市、木津川市

### (3) 府内特産品アンテナショップの運営

京都府から業務移管を受け、京都市営地下鉄京都駅構内（中央1改札口西側）において、府内特産品等を日替わりで販売するアンテナショップ「駅ナカ 京のふるさと出会い市」の出展調整をし、府域への観光誘客と府内産品の振興を図った。

- ・出展者数：延べ236店（うち初出展31店）



#### (4) イベント会場・観光展での観光PR

日本観光振興協会関西支部の関西観光展をはじめ、機会をとらえて観光ブース出展を行うなど、府域観光のPRを行った。

## 6 国際観光振興の対策強化

### (1) インバウンド商談会への参加

国内最大規模のインバウンド商談会「VISIT JAPAN トラベルマート2013」に亀岡市観光協会、保津川遊船企業組合と共同で参加し、京都観光の情報提供及びPRを行った。

- ・名称：VISIT JAPAN トラベルマート2013
- ・日程：平成25年11月27日（水）～29日（金）
- ・場所：パシフィコ横浜
- ・内容：アポイントメント商談－12か国、地域の旅行会社23社  
自由商談－15か国、地域の旅行会社・メディア27社

### (2) 海外誘客のための実行委員会等への参画

次の委員会の事務局を担い、インバウンドを推進した。

#### ① 京滋国際観光誘客推進事業

京滋国際観光誘客推進委員会（京都府、滋賀県、（公社）びわこビジターズビューロー、当連盟）の事務局を担当するとともに、国のビジット・ジャパン地方連携事業とも連携し、各国のメディア招請等を実施した。

- ・台湾、香港、韓国、シンガポールのブロガー4名のファムトリップ  
（平成26年1月20日～27日 7泊8日）

#### ② 海外有カプレス関係者等招請事業

海外有カプレス関係者等招請京都委員会（京都府、京都市、（公社）京都市観光協会、（公財）京都文化交流コンベンションビューロー、当連盟）の事務局を担当するとともに、アジアをはじめとする海外のプレス関係者等を招請し、京都取材への協力を行った。

- ・招請総数：26件 招請国・地域：11か国・地域

### (3) 京都府との連携

国際観光の振興を図るため、京都府と連携して次の事業に取り組んだ。

① アジア地域をターゲットとした京都PR事業

ア 第8回 APEC 交通大臣会合公式ディナー及び展示ブース PR 事業

- ・内 容：今後訪日が増加するとみられる APEC 各国が集う会場において、京都の奥深い魅力を紹介

- ・日 程：平成 25 年 9 月 4 日（水）・5 日（木）

- ・場 所：ホテルニューオータニ（東京）

イ 関西広域連合香港プロモーションにおける京都府PR事業

- ・内 容：関西広域連合による「関西観光展・物産展」に併設した PR ステージにおいて、十二単など京都PRを実施

- ・日 程：平成 25 年 9 月 14 日（土）・15 日（日）

- ・場 所：イオン香港コーンヒル店

② 和婚をテーマにした海外誘客事業

ア 香港からのモニター撮影実施

- ・内 容：香港のモニター1組の結婚前撮写真撮影、アンケート調査実施

- ・日 程：平成 25 年 12 月 3 日（火）・4 日（水）

- ・場 所：下鴨神社、高台寺、ハイアットリージェンシー京都、府庁旧本館

イ エージェント及びメディアファムトリップの実施

- ・内 容：結婚前撮の先進地である中国等のエージェント等を招請し、寺社などの撮影場所の調査、和装による模擬撮影、商品造成検討を実施

- ・日 程：平成 26 年 3 月 18 日（火）～21 日（金）

- ・招請者：中国、台湾、香港のエージェント3名、メディア2名

③ 自然体験等の地域の観光資源を活かした教育旅行誘致事業

- ・内 容：最大の教育旅行訪日先である台湾の教育関係者 10 名を丹後に案内し、民泊、自然体験メニューを紹介

- ・日 程：平成 26 年 2 月 22 日（土）～26 日（木）

- ・場 所：京丹后市掛津地区

④ 香港プロモーション事業

- ・内 容：日本食の関心が高い香港において、京都の花見をテーマに観光・物産展を開催し、京都 PR を実施

- ・名 称：「京都観光・物産プロモーション in 香港」

- ・日 程：平成 26 年 3 月 24 日（月）～30 日（日）

- ・場 所：香港ハーバーシティ

## 7 京都観光を担う人材の育成

府内各地域の観光の未来を担う人材を育成・活用のため、京都府観光ボランティアガイド団体連絡協議会やOB会「京都観光未来創造ネットワーク」の活動を支援し、関係団体との連携を深めた。

### (1) 観光ボランティアガイド団体連絡協議会

- ・ 総会 7月8日（月）
- ・ 現地研修会 12月13日（金）

＜訪問先と説明者＞

京都市伏見区：御香宮神社、寺田屋などー京都SKY観光ガイド協会

宇治田原町：永谷宗円生家、茶宗明神社などー宇治田原いいとこ案内人

井手町：地蔵禅院、小町塚などー井手町ふるさとガイドボランティアの会

### (2) 京都観光未来創造ネットワーク

- ・ 総会 6月10日（月）
- ・ 外部有識者を迎えての講演会 1月16日（木） 参加者37名

## 8 緊急雇用創出事業

府内の観光資源の魅力向上を図るため、緊急雇用創出事業を活用し、観光情報の収集・整理、広報物の作成等を行った。

# 海の京都観光推進協議会 平成25年度事業報告

海の京都観光推進協議会事務局  
(京都府観光連盟が事務局を担当)

## 1 海の京都観光推進協議会の設立（平成25年4月9日）

京都という観光ブランドと、海という北部の資源を結びつけた「海の京都」という統一テーマのもと、滞在型交流型観光圏の形成を目指して「海の京都観光推進協議会」を設立。京都府北部の福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町及び与謝野町の7市町、京都府、観光事業者等約70団体が参画した。

会長には、柏原康夫京都府観光連盟会長が選任された。

## 2 観光プロモーション事業

### (1) JAL JAPAN PROJECT

航空会社（JAL）と提携し、平成25年6月の1か月間、国内線において、機内誌「Skyward」や機内ビデオでの観光PR、ファーストクラス機内食での地域食材提供等により、海の京都の紹介を行った。

### (2) TANTAN ロングライド前日祭（平成25年6月1日 天橋立）

「TANTAN ロングライド」の機会をとらえ、京都府観光大使である人気タレント・チュートリアルが出演する前日祭を実施した。

### (3) 京都市営地下鉄車内ポスターでのPR

京都府が持つ地下鉄中吊り広告枠で随時海の京都関連のPRを行った。

### (4) テレビ番組における「海の京都」の発信

ABCテレビ「おはよう朝日 土曜日です」でのCM（平成25年1月11日～3月22日）及び特集の取材を放送した。

### (5) 取材協力

首都圏、関西圏でのフリーペーパー、東海道・山陽新幹線搭載雑誌「ひととき」、月刊誌「じゃらん」、雑誌「旅行読売」、「falo ファーロ」、「歴史読本」、「温泉旅」（台湾）等への記事掲載協力、首都圏からのプレスツアー対応等により対外的な情報発信を実施した。（無償）

## 3 観光地域ブランド化推進

### (1) 海の京都ロゴマークの制定

### (2) 海の京都パスポートの発行（2回）、ポスター、広域観光マップの作成

### (3) 重点整備地区に係る基本計画（マスタープラン）作成支援事業

各重点整備地区（戦略拠点）における民間主体の観光まちづくりの基本計画となるマスタープランの策定に必要な経費を補助した。

#### (4) 地域資源等開発支援事業

各重点整備地区における地域の歴史・文化・食等を再発掘、名産品、着地型観光商品の開発等を行うために必要な経費を補助した。

#### (5) 首都圏・関西圏でのイベント出展支援

ア 海の京都「丹後のたからもの展」の開催（10月2日～8日、阪急うめだ本店）

イ 地方銀行フードセレクションへの出展（10月21・22日、東京ビッグサイト）

主な出展品：福知山スイーツ、天橋立の伝統的特産品「乾燥ナマコ」

### 4 周遊型滞在型観光地創造

ア クルーズ客向け周遊マップの作成

イ 大型クルーズ船寄港に伴う周遊促進活動支援（計7回クルーズ船が寄港）

ウ 外国人向け周遊パスの発売と連携した案内ガイドの作成

### 5 観光圏形成事業

#### (1) 観光地域づくりワークショップの開催（5回）

「海の京都」の観光地域づくりを進めるため、観光庁と連携し、専門家を講師に招き、観光地域づくりに関する研修会をはじめ、地域主導による地域DNAの掘り下げ、コンセプト形成、コンセプトを体感するための戦略等についてのワークショップを開催した。

#### (2) 観光地域づくりマネージャーの養成

新観光圏の観光地域づくりプラットフォームを運営する観光地域づくりマネージャー候補を選任し、観光庁が指定する研修（全3回）に派遣し、専門能力を身につけた7名の観光地域づくりマネージャーを養成した。

#### (3) 各市町における観光地域づくりの促進

ア 専門家派遣による各市町での観光地域づくりワークショップ開催支援

イ 天橋立（文珠・府中）、伊根におけるモニターツアーの実施

観光地域づくりが先行した2地区については、コンセプトを体感するためのモニターツアーを実施し、その意見を元に体感プログラムを構築する。

#### (4) マーケティング調査

ア 宮津天橋立 IC・与謝天橋立 IC 通行量調査の実施（2回）

京都府北部を訪れる観光客の居住圏の割合（動向）の把握調査を行った。

イ 観光資源基礎調査の実施

プロモーションのコンテンツの発掘及び整理を行うため、各市町が連携して観光資源基礎調査を実施し、「競争性」「認知度」の視点から観光資源を検討した。

ウ 観光客の満足度調査の実施（2回）

取組成果の指標として今後の取組に還元するため、来訪者の満足度調査を実施した。

#### (5) 海の京都観光圏整備計画及び整備実施計画の策定

平成26年2月に仮申請を行ったが、観光庁により認定時期は全国的に延期された。